

各 位

会 社 名 株式会社Liv-up
 代表者名 代表取締役社長 内藤 雅之
 (コード番号:2977 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 取締役管理部長 中谷 正雄
 TEL 03-5418-5100
 URL <https://www.liv-up.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、下記のとおり、2022年5月13日に公表いたしました2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,265	百万円 237	百万円 169	百万円 198	円 銭 214.64
今回修正予想 (B)	2,423	△69	△131	79	120.14
増減額 (B - A)	△842	△306	△300	△119	-
増減率 (%)	△25.8	-	-	△60.1	-
(ご参考)前期実績 (2021年9月期)	-	-	-	-	-

(注) 2022年9月期第3四半期から連結財務諸表を作成しているため、前期実績については記載しておりません。

2. 修正の理由

2022年9月期における戸建住宅・アパートの開発販売は順調に推移し、前回公表時点の目標値を2.5%上回る売上高を見込んでおります。しかしながら、同年度から注力している中古一棟収益ビル等の販売については、物件2棟が翌期（2023年9月期）の販売に後ずれとなったことが大きく影響し、売上高については前回公表時点の目標値より8億3千万円の減少、売上総利益については2億5千万円の減少となり、業績に大きく影響を及ぼす要因となりました。また、固定資産の取得による控除対象外消費税の発生により販売費及び一般管理費の租税公課におよそ6千万円の増加があったことも業績の圧迫要因となり、営業利益については前回公表の予想値から3億6百万円減少の営業損失6千9百万円に、経常利益については3億円減少の経常損失1億3千百万円に、それぞれ修正することいたしました。

一方で、同年度に子会社を取得したことにより負ののれん（特別利益）が第3四半期計上時から6千2百万円増加し、また課税所得の減少に伴い法人税等が減少することを見込んでおり、この結果、最終利益である親会社に帰属する当期純利益の減少額は1億1千9百万円に留まり、7千9百万円の利益計上を予想しております。

※本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上